

春季 名城公園キャンパス

テーマ

スポーツ×SDGs=∞

～望む未来の実現に向けて、スポーツが貢献できることは～

秋季 日進キャンパス

5月15日(木)

18:00~20:00※2

9月27日(土)

10:00~12:00※1

健康科学部 中垣 貴裕



スポーツがSDGsに貢献できる部分は、「3：すべての人に健康と福祉を」だけではありません。実は、スポーツには社会をよりよく変える可能性が無限に広がっています。本講演では、地域のスポーツ活動がどのように人々のウェルビーイングを支えるのか、スポーツが未来の社会をどうデザインしSDGs全体に貢献していけるのか、その秘めた可能性を一緒に探っていきます。新たなスポーツの力を発見し、アクションを起こしましょう！

春季 名城公園キャンパス

テーマ

消費者市民社会と「つかう責任」

～エシカル消費の実践～

秋季 日進キャンパス

5月22日(木)

18:00~20:00

10月4日(土)

10:00~12:00

商学部 岡野 純司



SDGs12の「つくる責任、つかう責任」では、製品等の製造・流通・消費・廃棄という一連の過程において、製造業者・流通業者が達成すべき目標（つくる責任）だけでなく、消費者が達成すべき目標（つかう責任）も含まれています。また、政府は、消費者自らが積極的に行動して多様な消費者問題の解決につなげる「消費者市民社会」を提唱しており、この中に「つかう責任」を考慮した消費活動につながるエシカル消費の実践が含まれています。本講座では消費者市民社会と、エシカル消費に関する最新の事例を紹介したうえで、消費者がエシカル消費を実践する際のポイントを説明します。

春季 名城公園キャンパス

テーマ

持続可能性をどう測るか

秋季 日進キャンパス

5月29日(木)

18:00~20:00

10月11日(土)

10:00~12:00

経済学部 藤川 清史



この講義では「持続可能な開発」の概念とその概念をどう指標化するかについてお話しします。「持続可能な開発」の用語は複数の国際機関が1980年にまとめた「世界保全戦略」が初出です。そこからわかるようにこの用語の当初の視点は「環境」であり、そこでは経済活動は厄介者でした。しかし人間は環境を棄損することを承知で経済活動を行わなければなりません。そこで経済学者は「経済」も持続可能性の重要な視点だと主張するようになりました。ただ視点が複数になると、今度は持続可能性をどう指標化するのかが新たな問題になってきました。この講義では、そうした経緯を紹介することで、「持続可能な開発」の測り方について改めて考えることにします。

春季 名城公園キャンパス

テーマ

SDGs:2030年まであと5年

～身の回りに目を向けて!～

秋季 日進キャンパス

6月5日(木)

18:00~20:00

10月18日(土)

10:00~12:00

総合政策学部 石橋 健一



2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」では、2030年までに持続可能でよりよい世界を実現するために持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）が定められています。国際的な組織「持続可能なソリューション・ネットワーク（SDSN/ジェフリー・サックス代表）」が2024年度に公表した報告書によれば、「全ての目標の平均で進捗が見られるのはわずか16%で、残りの84%は限定的な進捗か、あるいは後退している。進捗は依然遅すぎ、国によってばらつきがある」とされています。2030年まで、あと5年。私たちに何ができるのか、身の回りのことに目を向けて考えたいと思います。

※1. 初回のみ 9：50～開講式

※2. 初回のみ 17：50～開講式